

# 復興へ、ともに

④

このコーナーでは全国の地方公共団体から  
南三陸町に派遣されている職員を紹介します。



【氏名】能見亮佑

【派遣元】神奈川県 茅ヶ崎市

【所属】企画課

(企画情報係)

4月に赴任し、ここまで  
町民の皆様の温かな心遣い  
に助けられてきました。残  
り半年となりましたが、雄

大な海と山に囲まれた自然豊かな南三陸町の  
復興の一助となれるよう力を尽くしたいと思  
いますので、よろしくお願ひいたします。



【氏名】大熊隆太郎

【派遣元】兵庫県 西宮市

【所属】保健福祉課

(被災者支援係)

仮設住宅や災害公営住宅  
の入居者の方が、安心して、  
いきいきと生活するこ  
とができるよう、支援員による  
見守り事業等を担当しています。困ったこと  
がありましたら、是非相談してください。  
「一緒にがんばりすべ！」



【氏名】鈴木光宏

【派遣元】宮城県 登米市

【所属】町民税務課

(資産税係)

今年の4月から派遣され、  
土地関係を担当しております。  
南三陸町へは家族で遊びに来る機会が多く楽しま  
せていただいております。微力ではあります  
が派遣元での経験を生かし、精一杯頑張ります  
のでよろしくお願いします。



【氏名】熊井崇人

【派遣元】兵庫県 川西市

【所属】復興事業推進課

(移転促進係)

南三陸町での派遣業務に  
就いて早くも6か月が経ち  
ました。不慣れな土地で無  
事過ごすことができました  
のは、南三陸町に関わる多くの方々のおかげ  
です。東北の冬は厳しいと聞くので不安ですが、  
残り半年間、多くの町民の方により良い  
春が迎えて頂けるよう業務に努めて参ります。

## 文化財探訪

文化財を見て歩こう！

町指定 有形民俗文化財

入谷の修羅型きんま 入谷字桜沢（ひころの里）



入谷八幡神社の鐘つき堂床下から発見された、ケヤキ製の大型そりです。現在はひころの里松笠屋敷の  
母屋に展示されています。

今から千四、五百年前の古墳時代から近代にかけて、巨石や巨木を運搬するために使用されたY字形木  
製そりを「修羅」と呼びます。「きんま」は「木馬」の意で、山地での木材運搬に使うそりに似た道具の  
ことです。

この修羅型きんまは明治43年（1910）9月、入谷八幡神社境内の「昭忠碑」建立の際に使用され、昭  
和5年（1930）「三山碑」建立まで使われました。先端は蛇類の頭部に似せて目・鼻・口を細工している  
のが特徴で、単にものを運ぶ道具というのではなく、祭祀的な意味合いが込められていたと考えられます。

### ご存知ですか？ 文化財保護のこと

土地に埋もれている昔の建物跡やそれに伴う土  
器・石器などは町の大切な文化財です。一旦壊し  
てしまえば二度と元に戻すことができません。これ  
から住居の新築や土地の造成・改良などをお考え  
の場合は、必ず教育委員会にご一報ください。

問い合わせ

教育委員会生涯学習課文化財担当  
☎46-2639 FAX 46-2607